
第1回 三朝町議会定例会会議録（第7日）

令和2年3月11日（水曜日）

議事日程

令和2年3月11日 午前10時開議

（質 疑）

- 日程第1 議案第1号 令和2年度三朝町一般会計予算
- 日程第2 議案第2号 令和2年度三朝町国民健康保険事業特別会計予算
- 日程第3 議案第3号 令和2年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計予算
- 日程第4 議案第4号 令和2年度三朝町介護保険事業特別会計予算
- 日程第5 議案第5号 令和2年度三朝町簡易水道事業特別会計予算
- 日程第6 議案第6号 令和2年度三朝町温泉配湯事業特別会計予算
- 日程第7 議案第7号 令和2年度三朝町下水道事業特別会計予算
- 日程第8 議案第8号 令和2年度三朝町集落排水処理事業特別会計予算
- 日程第9 議案第9号 令和2年度三朝町財産区特別会計予算
- 日程第10 議案第10号 令和2年度三朝町水道事業会計予算
- 日程第11 議案第11号 令和2年度三朝町国民宿舎事業会計予算
- 日程第12 議案第12号 三朝町被災者住宅再建等支援条例の一部改正について
- 日程第13 議案第13号 三朝町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の一部改正
について
- 日程第14 議案第14号 三朝町印鑑条例の一部改正について
- 日程第15 議案第15号 三朝町保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 日程第16 議案第16号 三朝町水道事業給水条例及び三朝町簡易水道等給水条例の一部改正につい
て
- 日程第17 議案第17号 三朝町特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例及び三朝町営住宅の
設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 日程第18 議案第18号 布設工事監督者が監督業務を行う水道の布設工事並びに布設工事監督者及
び水道技術管理者の資格を定める条例の一部改正について
- 日程第19 議案第19号 三朝町温泉配湯条例の一部改正について

- 日程第20 議案第20号 三朝町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 日程第21 議案第21号 定住自立圏形成協定の変更について
- 日程第22 議案第22号 三朝町過疎地域自立促進計画の一部変更について
- 日程第23 議案第23号 令和元年度三朝町一般会計補正予算（第5号）
- 日程第24 議案第24号 令和元年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 日程第25 議案第25号 令和元年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）
- 日程第26 議案第26号 令和元年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第27 議案第27号 令和元年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第28 議案第28号 令和元年度三朝町水道事業会計補正予算（第3号）
-

本日の会議に付した事件

（質 疑）

- 日程第1 議案第1号 令和2年度三朝町一般会計予算
- 日程第2 議案第2号 令和2年度三朝町国民健康保険事業特別会計予算
- 日程第3 議案第3号 令和2年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計予算
- 日程第4 議案第4号 令和2年度三朝町介護保険事業特別会計予算
- 日程第5 議案第5号 令和2年度三朝町簡易水道事業特別会計予算
- 日程第6 議案第6号 令和2年度三朝町温泉配湯事業特別会計予算
- 日程第7 議案第7号 令和2年度三朝町下水道事業特別会計予算
- 日程第8 議案第8号 令和2年度三朝町集落排水処理事業特別会計予算
- 日程第9 議案第9号 令和2年度三朝町財産区特別会計予算
- 日程第10 議案第10号 令和2年度三朝町水道事業会計予算
- 日程第11 議案第11号 令和2年度三朝町国民宿舎事業会計予算
- 日程第12 議案第12号 三朝町被災者住宅再建等支援条例の一部改正について
- 日程第13 議案第13号 三朝町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の一部改正について
- 日程第14 議案第14号 三朝町印鑑条例の一部改正について
- 日程第15 議案第15号 三朝町保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 日程第16 議案第16号 三朝町水道事業給水条例及び三朝町簡易水道等給水条例の一部改正について

て

- 日程第17 議案第17号 三朝町特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例及び三朝町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 日程第18 議案第18号 布設工事監督者が監督業務を行う水道の布設工事並びに布設工事監督者及び水道技術管理者の資格を定める条例の一部改正について
- 日程第19 議案第19号 三朝町温泉配湯条例の一部改正について
- 日程第20 議案第20号 三朝町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 日程第21 議案第21号 定住自立圏形成協定の変更について
- 日程第22 議案第22号 三朝町過疎地域自立促進計画の一部変更について
- 日程第23 議案第23号 令和元年度三朝町一般会計補正予算（第5号）
- 日程第24 議案第24号 令和元年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 日程第25 議案第25号 令和元年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）
- 日程第26 議案第26号 令和元年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第27 議案第27号 令和元年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第28 議案第28号 令和元年度三朝町水道事業会計補正予算（第3号）

出席議員（12名）

1番 松原成利	2番 松原茂隆
3番 石田恭二	4番 吉田道明
5番 山口博	6番 藤井克孝
7番 遠藤勝太郎	8番 福田茂樹
9番 平井満博	10番 山田道治
11番 牧田武文	12番 清水成真

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長 小 椋 泰 志 主査 永 田 真由美

説明のため出席した者の職氏名

町長 松 浦 弘 幸 副町長 赤 坂 英 樹
教育長 西 田 寛 司 総務課長 椎 名 克 秀
地域振興監 青 木 大 雄 会計管理者 片 岡 里 美
財政課長 吉 川 徹 町民課長 山 中 恵 子
建設水道課長 早 苗 睦 巳 健康福祉課長 新 寛
観光交流課長 大 村 真優美 農林課長 安 田 寛
総務課参事 河 村 明 浩 教育総務課長 藤 井 和 正
社会教育課長 佐々木 敦 宏 社会教育課参事 馬 野 真由美

午前10時00分開議

○議長（清水 成真君） おはようございます。

ただいまの出席議員は12名であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日届け出のあった欠席者は、議員、当局ともございません。以上、報告いたします。

本日の議事日程は、お手元に配付しているとおりであります。

日程第1 議案第1号 から 日程第28 議案第28号

○議長（清水 成真君） お諮りいたします。議事の進行上、この際、日程を変更して、日程第1から日程第28までの28件の議案を一括議題としたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 異議なしと認めます。よって、この際、日程を変更して、日程第1から日程第28まで、すなわち議案第1号から議案第28号までの28件の議案を一括議題といたします。

これより質疑に入ります。

質疑は、議事の進行上、1件ごとに議案の順を追ってすることといたします。

議案第1号、令和2年度三朝町一般会計予算について。

本件に対する質疑は、ページの順を追って行います。

まず、6ページ、7ページ、第2表、債務負担行為、第3表、地方債について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、歳入についての質疑を行います。

事項別明細書の歳入の町税、10ページから15ページ、農林水産業費手数料まで、質疑ありませんか。

9番。

○議員（9番 平井 満博君） 14ページの教育使用料の体育施設使用料の分ですけども、毎年160万程度の利用料が上がるとるんですけども、この160万に対して管理費が697万4,000、700万かかるとるということの中で、基本的にはもうちょっと活用してもらって利用料が上がるような仕組みとか、この施設に対しての今後の管理契約みたいなことをどのように考えておられるのか、ちょっとお聞きします。

○議長（清水 成真君） 佐々木社会教育課長。

○社会教育課長（佐々木敦宏君） 平井議員から、管理費に対して体育施設使用料が少ないということの御指摘がございました。町民の使用料の負担を少なくするということがございますが、利用者負担の割合も考慮しながら、今後、使用料の設定につきまして検討したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（清水 成真君） よろしいですか。

○議員（9番 平井 満博君） 今後の管理、この施設に対する管理をどうするのか。

○議長（清水 成真君） 佐々木社会教育課長。

○社会教育課長（佐々木敦宏君） 施設の長寿命化を考えながら、適切な管理に努めたいと思っております。

○議長（清水 成真君） 9番。

○議員（9番 平井 満博君） 基本的には利用率が低下してきるとのことですんで、何とか利用してもらうためのそういう計画も含めて検討していただければというふうに思っております。

○議長（清水 成真君） 答弁は。

○議員（9番 平井 満博君） 答弁してもらって、終わります。

○議長（清水 成真君） 佐々木課長。

○社会教育課長（佐々木敦宏君） ありがとうございます。施設の利用率、利用人数がふえるように努めてまいります。以上です。

○議長（清水 成眞君） よろしいですか。

○議員（9番 平井 満博君） はい。

○議長（清水 成眞君） そのほか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成眞君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、国庫支出金及び県支出金について、15ページから23ページ、民生費委託金まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成眞君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、財産収入、23ページから30ページ、町債まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成眞君） 質疑なしと認め、進行いたします。

続いて、歳出の議会費、31ページから41ページ、総務費、監査委員費まで、質疑ありませんか。

7番。

○議員（7番 遠藤勝太郎君） 34ページの企画費の下段のほうに、地域おこし協力隊（企画）というので上がっておりますし、それからここに関連して、52ページの地域おこし協力隊（農業）、この金額が違うわけですね。企画のほうは599万9,000円、それから農林のほうは417万2,000円と違うわけですが、150万ぐらい、これはなぜでしょうか。

○議長（清水 成眞君） 青木地域振興監。

○地域振興監（青木 大雄君） 地域おこし協力隊の企画部門と農林部門で予算が違うという御質問だと思います。基本的に現在、企画のほうで1人地域おこし協力隊を置いておりますので、この部分に対する経費と、農林の部分でこれから新しい年度で募集する経費は一緒でございますが、企画のほうで地域おこし協力隊のいわゆる採用するまでの募集、農林分野も含めてですけれども、探してくるということと、それから今年度は、企画分野では情報発信をテーマにしておりますので、備品購入の中で新しい機器を入れるという予定がございまして、その部分が農林分野とのずれといいますか、違いになってあらわれておるものだと思っております。よろしく申し上げます。

○議長（清水 成眞君） よろしいですか。

○議員（7番 遠藤勝太郎君） はい。

○議長（清水 成真君） そのほか。

2番。

○議員（2番 松原 茂隆君） 37ページ、上段、防災専門員の設置費についてでございますが、まず予算について、昨年というか、現在元年度のことを聞くのもおかしいですが、聞いて今年度の予算を考えてみたいと思います。

説明資料では、その専門知識を有する職員を雇用することで、防災訓練の実施、地域での防災教育を推進するというところで雇ってあるというふうに書いてあるわけですが、今年度は、まだ途中ですが、何回ぐらいされたか、それをまず1回聞きたい。

○議長（清水 成真君） 河村総務課参事。

○総務課参事（河村 明浩君） 防災訓練でございますが、職員を対象にして6月に行いました。集落に出向いての防災学習会につきましては、社会福祉協議会と協力して、23集落だったと思いますけど、23集落の防災についての学習会を行っております。以上です。

○議長（清水 成真君） 2番。

○議員（2番 松原 茂隆君） 最終的には全集落、全町を対象にやられるということだと私は思っています。計画的に進めていってもらえるもんだと思いますが、一番大きな、観光客を抱えるわけですが、旅館等の訓練等は計画は当然あるものと思いますが、どうでしょうか。

○議長（清水 成真君） 河村総務課参事。

○総務課参事（河村 明浩君） 旅館等でございますけれど、現段階では計画はしておりませんが、旅館組合等と協議をさせていただいて対応していきたいというふうに考えております。

○議長（清水 成真君） 2番。

○議員（2番 松原 茂隆君） 特に旅館は観光客を抱えていますし、三朝の集落の中で三朝町の中でもたくさんの方がおられるところですので、来年度はぜひ計画を組んでいただきたいと思いますようお願いいたします。以上です。

○議長（清水 成真君） 答弁は。

○議員（2番 松原 茂隆君） いいです。

○議長（清水 成真君） いいですか。

そのほか。

5番。

○議員（5番 山口 博君） 36ページにあります防災行政無線強化事業469万円が、これ

は穴鴨の固定系の増設ということでございますけども、このような増設をしなきゃならなくなった事象は最近起きたものなのか、あるいは当初からなかなか聞けなかったものがようやくなくなったのか、その辺はどうなんでしょうか。

○議長（清水 成眞君） 河村総務課参事。

○総務課参事（河村 明浩君） 穴鴨の戸別受信機が入りにくいということで以前から苦情がございました。そのこともありまして、このたび全戸を対象にアンケートの調査を行った結果、53戸中の3分の2ですけど、ちょっと戸数忘れましたが、の方が途切れるとかということがございます。ここにつきましては、曹源寺と下西谷の基地局から受信しておりまして、今回は穴鴨単独の基地局を設置するというこの予定でございます。

○議長（清水 成眞君） 5番。

○議員（5番 山口 博君） これは、設置してからも既に全体的には計画は進んできて何年もたってからこういうような状況が出るということは、いわゆる住民サービスという点では非常に問題ではないかと思えます。今後このようなことのないようにやっぱりするべきじゃないかと思えます。以上です。

○議長（清水 成眞君） 答弁は。（「関連」と呼ぶ者あり）ちょっと待って。答弁はよろしいですか。よろしいですか。

○議員（5番 山口 博君） いいです。

○議長（清水 成眞君） 4番。

○議員（4番 吉田 道明君） 以前、木地山が入りが悪いということだったんですけど、解消したのでしょうか。

○議長（清水 成眞君） 河村参事。

○総務課参事（河村 明浩君） 木地山については、機器を更新しまして改修が終わっております。

○議長（清水 成眞君） 4番。

○議員（4番 吉田 道明君） いやいや、防災無線が入るようになりましたかっちゅうわけ、更新したでなしに。

○議長（清水 成眞君） 河村総務課参事。

○総務課参事（河村 明浩君） 更新した後には苦情はございませんので、入るようになったというふうに思っております。

○議長（清水 成眞君） そのほか。

8番。

○議員（８番 福田 茂樹君） ３４ページ、企画費の中の下のほう、情報通信基盤設備改修事業 １０億６、６８８万１、０００円、説明のときに、１７ページの補助金だったですかを２つほど、１億３、８００万と７、４００万の補助金があると。説明資料で１４７ページ、国２分の１掛ける０.４という何か非常によくわからないような、町の負担は結局幾らになるということでしょうか。

○議長（清水 成真君） 青木振興監。

○地域振興監（青木 大雄君） 情報通信基盤設備改修事業における国の補助金と町の負担に関する御質問だと思います。国の補助金でございますけれども、一定の金額に対して４月から事業に対して協議を行ってきておりますが、手を挙げる自治体が全国で多うございまして、当初ケーブルテレビのみの事業ということで２分の１を想定をしての説明をしておったと思いますけれども、そういった関係でその国の補助金がいわゆるカットされるという状況が発生しております。町としてはそれに対抗するために、今年度から総務省で仕組まれました通信に対する補助を取り込みまして２つの事業を合わせて今計画をしておるところでございますが、それをもっとしましても補助金が例えば２分の１満額来るといようなことは想定ができませんで、今最終の協議をチェックを受けておりますけれども、いわゆる０.４が入っておるといのは、補助金の６割カットということを、最悪の状態を想定をしての今数字を入れておるといことございまして、御理解をいただきたいと思ひます。以上でございます。

○議員（８番 福田 茂樹君） 町の負担は幾らになるの。６割。

○議長（清水 成真君） 青木課長。

○地域振興監（青木 大雄君） 残り、ですから例えば１０億で説明をさせていただきますと、今想定をしておるのは、国の補助金が２億でございます。残りが過疎債での対応ということで予定をするところでございます。

○議長（清水 成真君） ８番。

○議員（８番 福田 茂樹君） それで１年間かけてしていくわけですけども、その後のどこがサービスするとか、今だったらNCN、それとかその後のメンテナンス等は今考えておられるのかおられないのか、考えていないならいいです。

○議長（清水 成真君） 青木振興監。

○地域振興監（青木 大雄君） 整備後のメンテナンス及び運用だと思いますけれども、引き続きNCNとの中で準備をしていく予定で進めております。以上でございます。

○議長（清水 成真君） よろしいですか。

○議員（８番 福田 茂樹君） はい。

○議長（清水 成眞君） そのほか。

8 番。

○議員（8 番 福田 茂樹君） 35 ページ、諸費の集落公民館建設等補助金、説明資料で160 ページにあります。森区公民館新築417万と神倉区公民館改修110万。今までの公民館建設である場合は、よく県の補助金等を使って加工施設等を備えていったような認識があるんですけども、この森の場合は公民館のみなのか、公民館のみであれば町の負担割合は幾らなのか、この417万のうち、417万ですね。それから神倉の改修の場合の町の負担割合は幾らなのか、教えてください。

○議長（清水 成眞君） 青木地域振興監。

○地域振興監（青木 大雄君） まず、改修事業でございます。神倉の改修事業につきましては、町で昨年度からルールを少し見直しておりますけれども、町の改修支援という形での事業でございますので、単町費の対応でございます。

それから、森地区の公民館につきましては、従来はさまざまな事業を使っての公民館整備というのがございますけれども、今回につきましては、これもそういった事業ではなく、地元との協議の中で、町の公民館新築に対する助成がありますのでその枠の中での支援ということで、県費等の支援は含まれておりませんので、町単独の支援で町のルール上のものがございます。よろしくをお願いします。

○議員（8 番 福田 茂樹君） 割合を聞いている。割合は1割なのか、2割なのか、全部なのか、ルールを。

○議長（清水 成眞君） 青木振興監。

○地域振興監（青木 大雄君） 森につきましては、総事業費は今手元に持っておるものでございますと1,600万ということで伺っております、町のルールは単価と世帯数とでやりますので、1,600万に対して今の400万というのが割合ということになると思います。

○議長（清水 成眞君） 神倉。

8 番。

○議員（8 番 福田 茂樹君） 実は地元のことを申して申しわけないですけど、今、大瀬も公民館の建設について動きを出しとるわけで、それでどれくらいなのかなというのを聞いてみただけであります。終わります。

○議長（清水 成眞君） 青木……。

○議員（8 番 福田 茂樹君） いいです。

○議長（清水 成真君） よろしいですか。

○議員（8番 福田 茂樹君） はい。別件。

○議長（清水 成真君） 8番。

○議員（8番 福田 茂樹君） 39ページ、賦課徴収費の上から5番か、税務事務電算処理委託費1,200万ほどあります。この中で、今回コンビニ収納に向けていろいろ研究されたのを実行に移すということでありまして。この1,295万5,000円のうちのどれくらいの金額をコンビニの予定にしておられるのか。

○議長（清水 成真君） 山中町民課長。

○町民課長（山中 恵子君） コンビニ収納システム導入費として、今年度224万円を計上させていただきます。

○議長（清水 成真君） 8番。

○議員（8番 福田 茂樹君） その224万円を使ってどのくらいの効果を見られてるのか……（「124」と呼ぶ者あり）124万、失礼。124万の……（発言する者あり）200だ、合っとるがな、私のほうが。224万の費用をかけてどれくらいの税収の効果を狙っておられるのか、お聞きしたい。

○議長（清水 成真君） 山中町民課長。

○町民課長（山中 恵子君） 今年度はシステムの導入で、令和3年度から本格導入をしたいと考えておるところでございます。現在、納付書の使用率が件数でいくと60%を占めておりますので、その半数がコンビニの利用をされるのではないかとこのように予想をしております。金額にしましては……。済みません、ちょっと待ってもらってもいいですか。

○議長（清水 成真君） 休憩します。

午前10時23分休憩

午前10時24分再開

○議長（清水 成真君） 再開します。

山中課長。

○町民課長（山中 恵子君） 済みません。取り扱いの額でいくと、1億7,000万ぐらいを見込んでおります。

○議長（清水 成真君） よろしいですか。

○議員（8番 福田 茂樹君） 結構です。

○議長（清水 成真君） そのほかありませんか。

6 番。

○議員（6 番 藤井 克孝君） 予算書の部分で35ページ、バス運行対策費の補助金で4,900万、それで、去年は4,500万、この差額の部分と、今の路線バスの運行状況等を見ると、なかなかお客さんが減少しとる中で、バスの運行状況等も踏まえてどのように町としては考えておられるのか、お聞きいたします。

○議長（清水 成真君） 青木地域振興監。

○地域振興監（青木 大雄君） バスの運行対策費補助金についてでございます。この金額は令和元年度の実績に基づいて入れておりますけれども、前年に比べてやはり少しふえてきております。ふえた原因は、これまで国の補助対象になっていた路線の中で2路線ありますけれども、これが1つ基準から落ちたために、県の補助のほうに回ったために県から町の補助を使うということで、その部分が増額となってあらわれているものでございます。これから町はどうしていくのかということでございますけれども、地域公共交通の見直し等も考えておりますので、そういったことと一体的に整理をしながら、収支等も考えて次のプランを今考えておるところでございますので、御理解をいただきたいと思っております。

○議長（清水 成真君） よろしいですか。

そのほかありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、民生費、42ページから47ページ、児童手当費まで、質疑ありませんか。

7 番。

○議員（7 番 遠藤勝太郎君） 7 番。46ページの保育所費、賀茂保育園運営費が1億225万6,000円、みさきこども園が5,481万1,000円、この差はなぜでしょうか。規模的には大して変わらんとするだけだ。

○議長（清水 成真君） 山中町民課長。

○町民課長（山中 恵子君） ここに組んである賀茂保育園の運営費は、公定価格に基づいた運営費、国が定める基準により算定した保育に係る費用の額を計上しております。みさきこども園につきましては、公定価格ではなくて実際にかかる運営費を計上しております。例えば会計年度職員の報酬ですとか消耗品とか手数料とかそういうことで組んでおまして、人件費のほうは別のところに計上しております。それで、そういう差が出ております。

○議長（清水 成真君） 7番。

○議員（7番 遠藤勝太郎君） 人件費の差ということですか、なら。

○議長（清水 成真君） 山中課長。

○町民課長（山中 恵子君） みささこども園がここで賀茂保育園よりも少ないのは、人件費の部分でございます。ただ、実際には、人件費を加えると、みささこども園の額のほうが多くなります。

○議長（清水 成真君） よろしいですか。

8番。

○議員（8番 福田 茂樹君） 46ページ、一番下のほう、保育所費の保育所改修事業3,000万、説明資料で70ページ。私の中でちょっと認識がないんですけども、前回4,500万の補正があって今回3,000万、平成30年度に策定した賀茂保育園中・長期計画、この計画の中に3,000万以降もまた改修が発生するのかどうか。

○議長（清水 成真君） 山中課長。

○町民課長（山中 恵子君） 平成30年度に賀茂保育園の中・長期計画を策定しましたが、令和2年度に空調や厨房機器、屋根塗装等の改修を行う計画としておりました。今回は空調の分につきましては、早目の修繕が必要ですので、今年度補正で対応させていただいたところでございます。それで、残りの分を令和2年度で計上させていただきました。今後は5年後に大規模な改修を予定しております。（発言する者あり）今回の大規模改修はこれで終わりですけど、5年後にまた大規模な改修を予定しております。

○議長（清水 成真君） よろしいですか。

8番。

○議員（8番 福田 茂樹君） 出てきたんですから聞かせていただきたい。大規模な改修って何ですか。建物自体を改修していくような事業なんですか。今年度の事業じゃないけえ答えられなきゃ答えなくてもいいんですけど、そういう話が出てきたもんですからちょっとお聞きしたい。

○議長（清水 成真君） 山中課長。

○町民課長（山中 恵子君） 5年後は、外壁やインターホン関係の修繕とか換気扇関係の修繕を行うこととしております。費用としても3,000万以上かかるぐらいの改修を予定しております。

○議長（清水 成真君） よろしいですか。

○議員（8番 福田 茂樹君） はい。

○議長（清水 成真君） そのほかありませんか。

〔質疑なし〕

○議長（清水 成真君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、衛生費、47ページから50ページ、じんかい処理費まで、質疑ありませんか。

5番。

○議員（5番 山口 博君） 委員会で聞きそびれたのでちょっと聞きますけども、50ページにあります中部ふるさと広域連合負担金のじんかい処理費ですけども、去年は9,200万という大きい数字であったんですけども、今期4,800万という約半分に近いような積算になっておりますが、事業内容を見ますと全く変わってない表記になっておりますけど、どのような理由によるものでしょうか。

○議長（清水 成真君） 山中課長。

○町民課長（山中 恵子君） クリーンランドほうきの一般廃棄物最終処分場の増設工事が行われているんですが、その予算として平成30年と31年度で総額25億かかっております。この負担金が昨年度までかかっておりましたが、令和2年からはその分がなくなりましたので、大幅な減額となっております。

○議長（清水 成真君） よろしいですか。

そのほか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、農林水産業費、50ページから56ページ、大規模林道事業費まで、質疑ありませんか。

7番。

○議員（7番 遠藤勝太郎君） 51ページ、農業振興費の中の水田農業サポート事業について質問させていただきます。

予算説明資料128ページにありますけれども、以前はグリーンサービスの支援としては定額の500万という状況であったというふうに思いますけれども、今回、水田受託支援として18.5ヘクタールの3万7,000円ちゅうふうに上がってるわけですけども、まず初めに、この3万7,000円ちゅう基礎金額ちゅうか、これはどこから算出されたかというのが1点。

それから、もう1点は、グリーンサービスも担い手協議会のメンバーだというふうに思っております。これに対しては水田借り上げのときに5,000円の補助金が出るという状況がありますね。これも加味してのことなのか。

それから、もう1点、下に支配人役職手当支援として10万円の12カ月、これは何を意図し

とるか。今までこういうようなものはなかったと思うわけですが、この点も。

○議長（清水 成眞君） 安田農林課長。

○農林課長（安田 寛君） 1つ目ですが、3.7万円とした算出基礎でございます。これまでおっしゃられるとおり500万円というふうな固定した支援だったかと思うんですけども、実はこの500万円の固定されてきた補助金が適切なものであるのかどうかということも含めてということと、あと、グリーンサービスの会計の分析を行ったところでございます。そうしたところですが、大きく水田の全面受託部分が足を引っ張るとということが判明をいたしまして、じゃあ、実はどれくらいの金額が全面受託の部分で足を引っ張るとするのかということまでちょっと分析したところですが、コシヒカリでいくと、約5.3万円のマイナスになる、1反当たり受ければ受けるほど5.3万円ぐらいマイナスになる。もう一つは、きぬむすめでいうと、約1反当たり4.6万円ぐらいマイナスになるっていうところをグリーンサービスの状況で計算をしたところわかったということでございます。ただ、この数字っていうのは、実は反収によってかなり大きく変動するという部分もございまして、そもそも水田受託を受けることによってどれぐらいマイナスになるのかっていうのが、鳥取県の経営試算のほうで実は公表されとるものがございまして、それを参考にちょっと三朝町のほうで補正を加えたところでございますが、それでいくと、1反当たり受けると、約3.7万円鳥取県の水田の状況でいくとマイナスになるというようなことが、鳥取県のほうの経営試算をもとに計算したところで、三朝町の数字でいうと約3.7万円ぐらいになるという根拠でございます。

昨今でいきますと、どんどんどんどん水田の管理委託がふえてくるという状況にございますので、これまで固定した500万円というところであれば、実は経営の状況を分析したところできくと、年によっていろいろありますけども、500万円で大体おおむねプラス・マイナス・ゼロというか、おおむね赤字にはならない程度でずっと推移してきとるというところはございますが、ただ、この状況っていうのが逆に考えますと、これ以上水田を受けるとマイナスになるという状況を引き起こすということがございます。

ただ、現状としては、農家の方からどんどんどんどん水田を受けてくれという要望も起きてきてるという状況もございますので、なるべくグリーンサービスのほうには水田の受託のほうを受けていただきたいという思いもございましたので、受ければ受けるほどマイナスになるという状況を改善したいということもございまして、3.7万円1反当たり受ければ、おおむね水田の全面受託部分としてはプラス・マイナス・ゼロになるということになろうかと思っておりますので、なるべくたくさん受けていただきたいという思いで、1反当たり3.7万円を支出するということで考え

方を決めさせてもらったというところでございます。

もう一つですが、5,000円の話があったかなと思います。水田農業担い手協議会のほうには昨年までは1反当たり5,000円というものを支出しておりましたけども、今年度からは3,000円ということにちょっと変えておりますけども、グリーンサービスについてはこちらのほうについては支出はしておりませんので、水田農業担い手協議会の方々のみにということにしております。これまでもずっとグリーンサービスのほうには1反当たり何ぼというのは出しておりませんでしたので、こちらの金額については水田農業担い手協議会の会員様のみということで考えておるところでございます。

もう一つでございます。人的支援の部分のところでございます。今年度、実は代表取締役社長の方が退任を表明されとります。いわゆるこの方が、ちょっと書き方、表現がどうかとは思いますが、支配人というところで、いろいろとグリーンサービスの組織の差配を振っていただいた方でございます。この方が今期をもって退職したいということの意向を表明しておられますので、こちらのかわりになる方ということで支配人というような表現をしておりますけども、後任の支援を行っていききたいというふうに考えております。

そもそも三朝町は筆頭株主ということでこの組織でおる立場でございますので、こういった社員の役割の方々に支援することによって、組織強化について三朝町としても積極的にかかわっていききたいという思いもございますので、そういった意味も込めまして、支配人に相当する方の支援を行うことによって組織に対するかかわりを強く持っていきたいという思いもございまして、こういったことを計上しておるといふものでございます。

○議長（清水 成真君） 7番。

○議員（7番 遠藤勝太郎君） 今グリーンサービスが町の水田委託ということで言われたけども、今、担い手協議会もそのメンバーの中に加わっているところから受けとるという状況だと思うですわ。それで、何でグリーンサービスだけ3.7万円つけて担い手のほうは3,000円に落とす、この辺の理解ができませんけども、まず1点目に。

それから、今グリーンサービスも農地を全部受けてくれるかっていったら、受けてくれなくて、なかなか条件的に悪いところでは基盤整備田でも。そういうのがクリアされた時点でこれならいいけども、それをクリアせずにおって、予算はつけたるけえしなさいっっちゃうことではいけないかと思うんだな。ほかにもだんだんだんだん委託がふえてきたら、この金額も上がっていくっっちゃうことですか。最終的に上限はどのくらいまで出す考えでおられるですか。

○議長（清水 成真君） 安田課長。

○農林課長（安田 寛君） 具体的には、今後どのあたりの面積までっていうのは、ある程度線引きは必要になってくるのかなと思います。確かにおっしゃられるように、全部が全部受け切れるものではないというふうに思っておりますので、そういった意味でいいますと、ある程度線引きが必要になってくるのかなと思います。どの程度、最終的に三朝町としては農地として守っていくべきところなのかという線引きが必要になってくるのかなと思います。そういった意味で一つの指標になるのかなと思いますけども、中山間の直接支払い制度で協定を結んでおる区域、例えばそういったところの区域を三朝町として守っていく水田の区域というようなことも考えていかないけんのかなというふうには思っておるところでございます。

水田農業担い手協議会との関係でございますけども、水田農業担い手協議会、加盟をしておるのが、グリーンサービスも含め今現在でいいますと28名ぐらいの方が加盟しておられる状況でございますけども、その機能としては、水田をなるべく調整をしながら受けていただきたいという思いもございまして、そういった組織をしておるところでございます。

水田農業担い手協議会の会員さんとグリーンサービスの違いということになろうかと思いますけども、金額がかなり違うということもあるんですけども、その考え方の違いの中には、グリーンサービスは、そうはいっても会社組織で運営しているところでございますので、当然人件費というものを加えた上で支援をしていく必要があるのかなというふうに思っております、金額としてはどうしても高くなってしまうと。

水田農業担い手協議会の3,000円という単価を設定した根拠としては、そうはいっても水田農業担い手協議会の方々も、三朝町の水田を守っていかないけんという思いの中で水田を引き受けていただいているところでございますので、そういった方々の若干なりとも三朝町としての支援という意味での3,000円でございますので、この3,000円という根拠については、おおむね最近では無償で水田を貸し付けるというようなこともございまして、水田の貸付料に相当する金額が大体平均すると3,000円ぐらいでしたので、そういった部分についての支援という意味で3,000円というものを設定したということでございます。

○議長（清水 成真君） 7番。

○議員（7番 遠藤勝太郎君） 何か捉まえ方が全然かみ合わんというように私は理解するだけだね。先ほど言われたコシヒカリだったら5万3,000円のマイナスとか、きぬむすめだったら何ぼだったかマイナスだという話だったな。その中において、マイナス、マイナスって、本気でつくらんとそりゃ収量上がりませんよ。だけえ言わせてもらおうと、担い手だって同じ仕事しとって頑張って収量上げとってとんとんぐらいになっとる。いつも言うことだけど、中山間地域直接支

払制度があって多少なりとも利益が上がるとるっちゅう現状だと私は思っとるですが、そうしたときに、担い手もグリーンサービスも荒廃農地にせんがために努力して頑張るとるという考え方をすれば、何でグリーンサービスだけ3万7,000円で担い手は3,000円に落とさないけんか、この辺が根本的に違うだけど、考え方が。思われませんか。

○議長（清水 成真君） 安田課長。

○農林課長（安田 寛君） 先ほどから、ごめんなさい、ちょっと重複した回答になってしまうかもしれませんが、担い手との違いといいますのは、グリーンサービスは、そうはいつでも最終的な水田の受け皿になっていただくという意味で、会社を組織をして当初からその目的を遂行するためにずっとやってきておられるという現状があると思います。ただ、担い手については、人件費という部分の考え方は水田の経営の中には恐らく考えておられないと思っております。ただ、グリーンサービスでいうと、会社組織で運営をしているものでございますので、水田の管理には当然人件費という考え方が出てくるのかなと思っておりますので、そういった部分を加味して3.7万円ということを設定しとるということでございます。

○議長（清水 成真君） そのほか。

4番。

○議員（4番 吉田 道明君） なら、法人化しとるところは3万7,000円出すという考え方ですか。法人化は人件費が要りますからね、当然。どうですか、そういうことになりますか。

○議長（清水 成真君） 安田課長。

○農林課長（安田 寛君） 法人化をしとるしとらんという言い方をしてしまったのはちょっとあれかもしれませんが、三朝町がかんでおる組織とそうでない組織っていうのは大きく違いがあると思いますので、最終的な、先ほど言ったんですけど、グリーンサービスは三朝町が関与してる組織でございますので、そことの違いはあると思います。

○議長（清水 成真君） よろしいですか。

そのほか。

1番。

○議員（1番 松原 成利君） 関連してですが、水田農業サポート事業ということで、中身を見ますと従来のグリーンサービス営農補助金という、説明資料でいきますと128ページですが、これと何ら変わらないような内容のものになっておりますが、これは単に名前を変えただけなのか、または、今、遠藤議員のほうからも言われましたが、ほかの事業者にも支出するというようなことがあるのか、その点についてお伺いします。

○議長（清水 成眞君） 安田課長。

○農林課長（安田 寛君） この水田農業サポート事業というのは、グリーンサービスに対する支援のみの話でございまして、ほかの担い手の方々に対する支援につきましては違ったところでございます。といいますのが、隣のページの129ページの三朝スタイルの担い手農家育成事業というところで、担い手の方々には1反当たり3,000円というのを支援するという考え方でございます。

○議長（清水 成眞君） 1番。

○議員（1番 松原 成利君） それでしたら、明確に以前のように、このような紛らわしい名前ではなく、堂々とグリーンサービス運営補助金という名前でここに上げてくるべきだと思いますが、これを変更した理由は何ですか。

○議長（清水 成眞君） 安田課長。

○農林課長（安田 寛君） 先ほどからちょっと説明してるところでございますけども、水田農業の全面受託の部分について支援を行っていくという意味がございまして、そういった意味で名前を変えてここに計上したということでございます。先ほど言ったように、インセンティブを働かせて受ければ受けるほど金額的にはアップするというのもございまして、そういった意味での名前を変更しとるということでございます。

○議長（清水 成眞君） よろしいですか。

1番。

○議員（1番 松原 成利君） もう一回聞きますが、これは結局は個人経営の人も条件的には同じだと私は思うわけですが、それに関係しないことでありましたら、水田農業サポート事業ではなく、明確に従来のグリーンサービス運営補助金という名前に戻すべきだと思いますが、違いますか。

○議長（清水 成眞君） 安田課長。

○農林課長（安田 寛君） 済みません。重複した回答になってしまうかもしれませんが、従来でいきますと、グリーンサービス運営全体の補助金ということでグリーンサービスの運営補助金という名前をしておりましたけども、先ほどから答弁しておりますとおり、水田の全面受託部分についてインセンティブを与えてグリーンサービスに対して支援を行うという意味で、この名前をつけておるということで御理解いただけたらと思います。

○議長（清水 成眞君） そのほか。

7番。

○議員（7番 遠藤勝太郎君） 55ページの林業振興費の中の竹林整備地域活動支援補助金、以前は集落とか個人でも受けれたというふうに思っておりますが、今、森林組合に一括委託だかというような話を聞く中において、今、三朝町で特別栽培米の堆肥に竹粉堆肥っていうのを入れんとつくれんというような状況で制約されとるわけですから。そういうのにもっと活用されるっちゃうことは考えておられんか。

○議長（清水 成真君） 安田課長。

○農林課長（安田 寛君） ありがとうございます。そういったことも今後考えていかないけんと思うところがございますので、また今年度以降にうまい仕組みができ上がればと思いますので、御意見を参考にさせていただきたいと思います。

○議長（清水 成真君） 7番。

○議員（7番 遠藤勝太郎君） 今後考えるだなしに、もう既に考えとらないけんことじゃないですか。これ条件にしてあるですよ、この竹粉を入れないけんという。どこの竹を切って、なら竹粉をつくる考えで進めとんなるですか。

○議長（清水 成真君） 安田課長。

○農林課長（安田 寛君） ですので、そういったところの今この事業で切り出した竹のことも含めまして、竹林のほうで竹をとらせてもらいたいという希望をとりながら今年度以降も進めていかないけんと思っておりますので、そういったことも参考にさせていただきながら進めていきたいと思えます。

○議長（清水 成真君） 1番。

○議員（1番 松原 成利君） 戻ってもらいまして51ページですが、倉吉地区農業士会経費、説明書で127ページですが、指導農業士というのがありますが、この指導農業士というのはどこでどんなことをされている方なんでしょうか。

○議長（清水 成真君） 安田課長。

○農林課長（安田 寛君） 三朝町を中心に活躍していただいている方でございます。場所としては三朝町内でございます。役割としましては、担い手をリードする役割としまして、新規就農者の支援、指導であったりとか、農政全般に対して、こういったことをしたらいいじゃないのというような提言をいただいたりというようなことで、町内を中心に活躍をいただいているところでございます。

○議長（清水 成真君） よろしいですか。（「関連」と呼ぶ者あり）

7番。

○議員（7番 遠藤勝太郎君） 今の答弁、新規就農者どうこうって言われたけども、例えば農業関係の会合に指導農業士が呼ばれることはあるのか。私も以前しとりましたけども、そういう農業関係の会合には一遍も呼んでもらったことがないけど、その辺はどういうように考えとるか聞きたい。

○議長（清水 成真君） 安田課長。

○農林課長（安田 寛君） ダブっておられる方もございますけども、そうじゃない方もございますので、そういった方については、今後声をかけてそういった場に出ていただくようにしたいというふうに思いますので、よろしくお願いします。

○議長（清水 成真君） 8番。

○議員（8番 福田 茂樹君） 何点かお聞きしたいと思います。

まず、52ページ、新規就農者総合支援事業160万、説明資料129ページ、今までの方はもう今年度で終わって150万の支援が終わると思うんですけど、この150万に対しての支援者が次のがあるのかどうか、あれば、どういう方なのか教えていただきたい。

○議長（清水 成真君） 安田課長。

○農林課長（安田 寛君） この150万につきましては、新規の方でございます、福山で畜産をしたいと言われる方が今年度春から活動を開始したいという意向でございますので、その方に対する支援でございます。

○議長（清水 成真君） 8番。

○議員（8番 福田 茂樹君） 別件です。その下にあります地域おこし協力隊の事業費（農業）、説明資料で130ページ、ここの負担割合、町の10分の10というふうになってるんですが、地域おこし協力隊は国の事業ではなかったかというふうに思うんですけど、この書き方はどうなんでしょうか。

○議長（清水 成真君） 安田課長。

○農林課長（安田 寛君） ちょっと書き方がまずかったかもしれません。国の10分の10の支援でございますので、ちょっとそういった意味で書き方がまずかったかなと思います。特別交付税扱いなので、一般財源として出すという意味で10分の10というふうに記載をさせてもらってるところでございます。

○議長（清水 成真君） 8番。

○議員（8番 福田 茂樹君） 紛らわしい書き方はやめてください。というふうに思います。何も書かないのかというふうに思ってます。ただ、昨年というか、今年度、結局応募がなかった案

件をもう一回出される勇気はどこから出てきたのか、お聞きをしたい。

○議長（清水 成真君） 安田課長。

○農林課長（安田 寛君） 農業分野についても、やっぱり力を入れていかないけんという意味も込めまして今年度計上しておるところでございますが、昨年度につきましては、応募がお一方ございましたけども、ちょっとこちらの思いとは少し違った分野での就農といえましょうか、農業支援のことを考えておられましたので、そちらの方々についてはお断りしたというような状況でございましたので、今年度については、もうちょっとこちらが意図するようなところを絞り込んで募集をかけていきたいなというふうに思っておるところでございます。

○議員（8番 福田 茂樹君） わかりました。

○議長（清水 成真君） 1番。

○議員（1番 松原 成利君） 三朝スタイルの担い手農家、51ページ、説明資料では129ページですが、この三朝スタイルの担い手農家、昨年は430万円ありましたが、270万円に減っております、これが減った要因というのは何でしょうか。また、この三朝スタイルの特徴というのについてももう一度教えていただきたいと思います。

○議長（清水 成真君） 安田課長。

○農林課長（安田 寛君） 金額が落ちた部分につきましては、先ほど申しましたが、単価を5,000円から3,000円に改定させてもらったところで金額が落ちるということでございまして、三朝スタイルっていう表現をしておりますのが、担い手、ここの支援については水田農業担い手協議会の会員さんに対する支援でございますので、水田農業を維持しようと努力する農家ありますとか新規就農者のことを、三朝町では三朝町独自のルールで会員さんの募集をして管理をしていただいているところでございますので、そういった意味を込めまして、これが三朝町独自のスタイルだという意味での担い手という意味での、そういう名前をつけておるということでございます。

○議長（清水 成真君） よろしいですか。

○議員（1番 松原 成利君） はい。

○議長（清水 成真君） 8番。

○議員（8番 福田 茂樹君） 52ページ、中山間地域を支える水田農業支援事業費補助金29万5,000円、説明資料で130ページにあります、次世代の地域の担い手農家の機械設備を支援トラクター1台（鎌田）ってあります。この方に決まるまでのやりとりというか、いきさつというんですか、ここに行き着くまでの説明をまずお聞きしたいというふうに思います。

○議長（清水 成眞君） 安田課長。

○農林課長（安田 寛君） こちらにつきましては、昨年まで親元就農、今年度も1カ月ほど支援をする、残りの1カ月がございまして支援をするんですけども、その方が今期で親元就農の支援を終えられて新たに親元を離れられて就農されるということでございまして、そういった方に機械の支援のことも情報提供としてはしておりますので、じゃあ、ぜひ活用したいということで、こちらのほうの支援を使ってトラクターの整備をするということにしておるところでございまして。

○議長（清水 成眞君） 8番。

○議員（8番 福田 茂樹君） まず、こういう事業があるというふうに町内に公募をかけてやる事業ではないんですか。これは違いますか。

○議長（清水 成眞君） 安田課長。

○農林課長（安田 寛君） そのとおりでございます。ただ、いろんな場面でこういった支援がございましてよというのは情報提供しておるところでございまして、ひょっとしたら周知が行き届いてない部分もあろうかなと思いますので、そういった部分については、もう少し周知を強化して図るようにしたいというふうに思っておるところでございまして。

○議長（清水 成眞君） 8番。

○議員（8番 福田 茂樹君） 周知しとるということですから……（「しとらせん」と呼ぶ者あり）しとるということですから。ちなみに、この方は何歳ぐらいの方でございましょう。

○議長（清水 成眞君） 安田課長。

○農林課長（安田 寛君） 済みません、正確なところまではちょっと把握はしてないんですけども、30前後ぐらいじゃなかったかなと思ってます。

○議長（清水 成眞君） よろしいですか。

そのほか。

1番。

○議員（1番 松原 成利君） 52ページ、真ん中あたりの三朝の特産物振興加速化プロジェクト、説明資料では130ページの下のほうですが、三朝の特産品というので4項目ほど今上げているようですが、このプロジェクトはどこが主体で、この支出先はどこでしょうか。

○議長（清水 成眞君） 安田課長。

○農林課長（安田 寛君） 三朝米の振興と神倉大豆の振興がございまして、こちらにつきましては、生産農家の方々の支援でありますとか、あるいは販売促進という部分もございまして、

J Aだったりという部分もございますので、そういったほうになろうかと思えます。もう一つ、3点目に反収アップ対策ということで書いてありますが、こちらにつきましては、堆肥を散布される農業者の方々の支援ということになろうかと思えます。4点目のアグリツーリズムにつきましては、都市住民とかあるいは観光客を対象として、農業体験等を観光商品として造成する農業者に対して支援をするという事業で今年度新規に考えとるものでございまして、具体的に言いますと、イチゴ農園に対してトイレを設置したいというような希望を出しておられるというところでございますので、その方に対して今年度については支援を行っていきたいというふうに思っております。

○議長（清水 成眞君） よろしいですか。

そのほか。

6番。

○議員（6番 藤井 克孝君） 予算書の55ページですけど、上段から6番目、55ページ、大丈夫ですね。ナラ枯れ被害対策費と枯松等伐採促進事業、昨年はナラ枯れ対策は144万円と枯れ松等が20万円。それで、枯れ松等は今年度は20万円が上がってる中で、これは計上が同じですよ。それで、ナラ枯れ対策は192万円と。これの今年度どのように計画されて、どのように処置をされているのか、お伺いいたします。

○議長（清水 成眞君） 安田課長。

○農林課長（安田 寛君） ナラ枯れ対策につきましては、事業量につきましては、約120本の駆除をするというようなところで計画をしてるところでございます。枯れ松につきましては、こちらにつきましては、例えば家の近くの松が枯れて家のほうに倒れかかってきそうだというようなときに対して、伐採経費の支援の2分の1を行いまして処理をしていただくというようなことで準備をしておるものでございますので、具体的に枯れ松のほうについては、今の段階では具体的に、じゃあ、どこをするということではないんですけども、準備をしておるというところでございます。

○議長（清水 成眞君） 8番。

○議員（8番 福田 茂樹君） 先ほどの松原議員と同じところで、三朝の特産物振興加速化プロジェクトの中にあります、私、ちょっと農業してないもんでわからぬので、マニュアルスプレッダー1台って、これ何ですか。

○議長（清水 成眞君） 安田課長。

○農林課長（安田 寛君） 圃場に対して堆肥をまく機械でございます。

- 議長（清水 成真君） 8番。
- 議員（8番 福田 茂樹君） どこが管理運営するんでしょうか、この1台を。
- 議長（清水 成真君） 安田課長。
- 農林課長（安田 寛君） グリーンサービスが今の段階では機械を利用して圃場に対してまく
というようなことで、お願いしたいなというふうに思っておるところでございます。
- 議長（清水 成真君） 8番。
- 議員（8番 福田 茂樹君） 何かもう1台あるというふうに聞いてますけども、横から、それ
はどこが管理しとるんでしょうか。
- 議長（清水 成真君） 安田課長。
- 農林課長（安田 寛君） そちらの機械も今グリーンサービスが機械を使って圃場にまいてお
るところですけど、その機械がもう限界が来とるというところで、その機械を更新するという意味
で計上しとるものでございます。
- 議長（清水 成真君） よろしいですか。
- 議員（8番 福田 茂樹君） はい。
- 議長（清水 成真君） そのほか。
- 1番。
- 議員（1番 松原 成利君） 55ページ、説明資料では138ページにあります低コスト林業
機械リース等支援事業ということで上がっておりますが、この説明のほうを見ますと、鳥取県中
部森林組合ということで、負担割合が県、国が2分の1と組合が2分の1ということで事業費の
ほうが1,793万2,000円、この2分の1がそのままが支援に上がっているということのよう
なのですが、この一部、森林組合フォワーダー2台、これは町が2分の1を支援するという理由
は何ですか。
- 議長（清水 成真君） 安田課長。
- 農林課長（安田 寛君） 機械を使って山の整備をしていくということについては、中部森林
組合がこの機械を整備するということではございますけども、中部、どこかの市町村が事業主体
となってこの機械を整備する必要がございますので、三朝町は山のまちということでもございま
すし、三朝町のほうが代表してこの機械の整備について行うということでございます。
- 議長（清水 成真君） 1番。
- 議員（1番 松原 成利君） この2分の1、全額三朝町が支援するということについては、三
朝町が山のまちはわかりますが、ほかのところの町村とかとの協議みたいなものはなかったんで

しょうか。

○議長（清水 成真君） 安田課長。

○農林課長（安田 寛君） こちらについては、町の持ち出しは一切ございませんので、国、県の補助金をそのままトンネルして機械を整備するということでございます。

○議長（清水 成真君） よろしいですか。

○議員（1番 松原 成利君） よろしいです。

○議長（清水 成真君） そのほかありませんか。

1番。

○議員（1番 松原 成利君） 57ページ、上のほうの商工振興費ですが、説明資料でいきますと172ページ。

○議長（清水 成真君） 56ページまでなんで。

○議員（1番 松原 成利君） 失礼しました。

○議長（清水 成真君） よろしいですか。そのほかありませんね。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 質疑を終結し、進行いたします。

しばらく休憩します。再開を11時15分といたします。

午前11時05分休憩

.....
午前11時14分再開

○議長（清水 成真君） 再開いたします。

次に、商工費、56ページから58ページ、公園等管理費まで。

8番。

○議員（8番 福田 茂樹君） 57ページ、観光費の真ん中辺、キュリー広場再整備事業2,181万7,000円、説明資料174ページでありますね。ここにあります今年度、友好の鐘と芝生広場の割合を教えてください、金額の割合。

○議長（清水 成真君） 大村課長。

○観光交流課長（大村真優美君） 友好の鐘が51万7,000円、インターロッキングが2,130万円の予定です。

○議長（清水 成真君） 8番。

○議員（8番 福田 茂樹君） 芝生の整備じゃなくてインターロッキングって、今年度と書いて

ありますけども、次年度以降も何か予定があるのかどうか。

○議長（清水 成真君） 大村課長。

○観光交流課長（大村真優美君） 済みません、インターロッキングというのは、今の芝生のところが管理が大分老朽化していて大変だということで、全面をインターロッキング化するという意味で、今インターロッキングというふうに申し上げました。

○議長（清水 成真君） インターロッキングってどういうことかと。

○観光交流課長（大村真優美君） ブロック舗装にするものです。

次年度以降ですけれど、ステージ部分の改修を考えております。（「もう一回」と呼ぶ者あり）

○議長（清水 成真君） もう一度。

○観光交流課長（大村真優美君） 次年度以降の分ですか。（「次年度」と呼ぶ者あり）次年度以降はステージ部分の改修を考えております。

○議長（清水 成真君） 8番。

○議員（8番 福田 茂樹君） 何か私に変なことを考えるわけじゃないですけども、指定管理の5年が終わるのを目指して、ちょうどあの前をきれいにしようかなというふうに考えるのは私だけでしょうか。質問を終わります。

○議長（清水 成真君） そのほか。

1番。

○議員（1番 松原 成利君） 57ページ、上のほうですが、三朝町工場設置奨励事業ということで481万5,000円上がりますが、こちらのほう金額が減るとるんですが、この減っている理由というのは、補助対象期間が終了したために件数が減ったとかということなんですか。何件ありますでしょうか。

○議長（清水 成真君） 大村課長。

○観光交流課長（大村真優美君） こちらについては、整備されたものの固定資産税相当額を補助することにしておりまして、3年を限度に補助をしております。今回予算計上しているのは、平成29と30に整備されたものについてを計上しておりまして、30に整備されたものの対象額が少なかったのが、今回は去年よりも減額になっています。

○議長（清水 成真君） よろしいですか。

○議員（1番 松原 成利君） はい。

○議長（清水 成真君） そのほか。

1 番。

○議員（1 番 松原 成利君） 同じページですが、5 7 ページ、三朝町空き店舗等活用支援補助金と、それから三朝町商店等魅力向上支援補助金というのはどちらも基金繰り入れということになっておりますが、これは仕組みとしてはどういう仕組みになっとりますでしょうか、支出の仕組みを教えてください。

○議長（清水 成真君） 大村課長。

○観光交流課長（大村真優美君） 事業の仕組みのことでしょうか、それぞれの。

○議員（1 番 松原 成利君） 基金に繰り入れて支出するということだと思いますが、例えば…
…（発言する者あり）

○議長（清水 成真君） 松原議員、もう一回ちょっと。

○議員（1 番 松原 成利君） 一旦基金に繰り入れをして、そこからそれぞれの目的で支出をしていっているというような形のことになっておりますでしょうか、それとも認識が違いますか。
1 7 2 ページの説明欄、負担割合の欄に書いてあることですけれども。

○議長（清水 成真君） 大村課長。

○観光交流課長（大村真優美君） 過去に積み立てました基金を使って事業を行っております。基金名は地域活力創出推進基金です。

○議長（清水 成真君） よろしいですか。

1 番。

○議員（1 番 松原 成利君） もう一回確認しますが、ということは、使っているものに対して基金にその都度繰り入れをしてるというやり方ということですか。繰り入れっていうことですよ、ここに書いてある。取り崩しではないと思うんですが。

○議長（清水 成真君） 大村課長。

○観光交流課長（大村真優美君） 基金から繰り入れて使っているほうです。

○議員（1 番 松原 成利君） わかりました。

○議長（清水 成真君） よろしいですか。

○議員（1 番 松原 成利君） はい。

○議長（清水 成真君） そのほか。

1 番。

○議員（1 番 松原 成利君） もう一つ、ちょっと細かいことですが、その下のほうの同じページですが、電気自動車急速充電施設の維持管理費ということですが、これ前年に比べると倍ぐら

いになっておりますが、こちらのほうは支出をするだけで収入っていうのはないんでしょうか。

○議長（清水 成眞君） 大村課長。

○観光交流課長（大村真優美君） 近年利用がふえておりまして、令和元年度についても補正をさせていただきます。これについては無料で使っていただいているので、収入はありません。

○議長（清水 成眞君） 1 番。

○議員（1 番 松原 成利君） どんどんこれからふえていくということもあるかと思いますが、ある程度上限みたいなことを設定したり、それから収入みたいなことも考えていかんといけんと思いますが、その辺の考えはありませんか。

○議長（清水 成眞君） 大村課長。

○観光交流課長（大村真優美君） 町内にほかにも電気自動車の充電の設備というのができてきておりますので、この機械もちょっと古くなってきているということもあるので、今後どうするかということについてはこれから検討していかないといけないと思っています。

○議長（清水 成眞君） そのほか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成眞君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、土木費、5 8 ページから6 1 ページ、住宅管理費まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成眞君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、消防費、6 1 ページから6 3 ページ、原子力防災対策費まで、質疑ありませんか。

5 番。

○議員（5 番 山口 博君） 6 2 ページにあります退職消防団員報償金ですが、これは昨年も7 0 0 万円、それからことしも7 0 0 万円ですけども、毎年同じ数の人が退職するとは思えないんですが、どのような実績に基づいてこの7 0 0 万円が積算されてるのか。

○議長（清水 成眞君） 河村参事。

○総務課参事（河村 明浩君） これは、これまでの実績に基づいて算出をしております。また、1 0 段目ぐらいにあります退職消防団員報償掛金という額が6 3 0 万ございますが……（発言する者あり）いいですか。これまでの実績でございます。以上です。

○議長（清水 成眞君） 5 番。

○議員（5 番 山口 博君） ちょっと私が聞きたかったのは、消防団員が退職されたときに出される報償金なので、これが毎年同じ数字が出てくるとは思えないので、毎年7 0 0 万円が積算

されてるのは、その辺の根拠はどうなってるかということを知りたいんです。

○議長（清水 成眞君） 河村参事。

○総務課参事（河村 明浩君） この報償金につきましては、退職される団員の階級に応じて額が変わっておりますので、これまでの先ほど申しましたように実績といいますか、支出した額を踏まえて余裕を持って700万。これについては、退職消防団員が確定しましたら精算のほうをさせていただきますと思います。

○議長（清水 成眞君） 5番。

○議員（5番 山口 博君） 参考までに、昨年の退職者に支出された金額がわかれば。

○議長（清水 成眞君） 河村参事。

○総務課参事（河村 明浩君） 支出の額、13名が退職しました。それと、新たにこのたび団長が退職をされましたので大体700万円近くにはなったと思っておりますが、細かい数字については今現在ではちょっとわかりません。

○議長（清水 成眞君） よろしいですか。

○議員（5番 山口 博君） はい。

○議長（清水 成眞君） そのほか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成眞君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、教育費、63ページから73ページ、学校給食費まで、質疑ありませんか。

9番。

○議員（9番 平井 満博君） 73ページの学校給食費の目の委託料についてですけども、この金額については例年と同じ金額になっとるけども、これは給食配送業務委託費だと思うんですけども、統合になって3校から1校、三朝小学校に配膳ということですけども、金額が変わってないということの中で、どういう算出根拠でこの255万2,000という数字が上がってきてるのか、お聞かせください。

○議長（清水 成眞君） 藤井課長。

○教育総務課長（藤井 和正君） ただいま学校給食費の委託料について、委託料の額が変更してないということでした。小学校が3校から1校になりましたけれども、運搬する車両が2台から1台になってますが、委託する拘束される時間等は一緒でございますので、委託料については同額ということで予算を計上しているところでございます。

○議長（清水 成眞君） 9番。

○議員（9番 平井 満博君） 拘束時間が違わんという話ですが、2校を1校に配る拘束っていうのは変わるといふふうに判断しますし、これグリーンサービスで受けとると思うですけども、グリーンサービスにしても季節によってはまた誰かに委託っていう格好、シルバーか何かか、そういう格好になっと思うんですけども、やっぱりこの金額は見直すべきではないかなという気がするんですけども、どう考えておられるか。

○議長（清水 成真君） 藤井課長。

○教育総務課長（藤井 和正君） 先ほども申し上げました拘束時間につきましては、旧西小学校に配達する時間とそこから回収する時間、新しく統合した三朝小学校においても配達する時間及び回収する時間が一緒ですので、委託先の職員の拘束される時間は一緒ということで、契約額についても同じ額を計上しているところでございます。

○議長（清水 成真君） 9番。

○議員（9番 平井 満博君） 私は、見直すべきだと、委託料の見直しを求めておきます。以上です。いいです。

○議長（清水 成真君） そのほか。

5番。

○議員（5番 山口 博君） 64ページの一番下に書いてあります学校運営支援員配置事業でございんですけども、ことし新たに始まった事業だと思いますが、これは町単独のものなのか、あるいは県のこういう方向が出ての対応なのか。それから具体的に中身を、ここに簡単には書いてありますけど、どのような形の仕事を期待しておられるのか、伺いたい。

○議長（清水 成真君） 藤井課長。

○教育総務課長（藤井 和正君） 学校運営支援員配置事業でございんですが、町独自の配置を考えてるところでございます。内容につきましては、支援が必要な児童生徒の増加に伴って、指導主事の補佐役的な業務及び学習指導以外の業務増加による教員の補佐のため支援員を配置するというものでございます。

○議長（清水 成真君） 5番。

○議員（5番 山口 博君） 実際には、この方は例えば学校に籍を置くのか、教育委員会に置くのか、どちらのほうの形で対応されるんですか。

○議長（清水 成真君） 藤井課長。

○教育総務課長（藤井 和正君） 教育委員会事務局での勤務ということで想定をしておるところでございます。

○議長（清水 成真君） よろしいですか。

そのほか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、災害復旧費、73ページから75ページ、予備費まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、給与費明細書、76ページから最後まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 質疑なしと認め、進行いたします。

最後に、その他全般について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 質疑なしと認めます。

以上で議案第1号、令和2年度三朝町一般会計予算に関する質疑を終結いたします。

議案第2号、令和2年度三朝町国民健康保険事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第3号、令和2年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第4号、令和2年度三朝町介護保険事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第5号、令和2年度三朝町簡易水道事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第6号、令和2年度三朝町温泉配湯事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第7号、令和2年度三朝町下水道事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成眞君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 8 号、令和 2 年度三朝町集落排水処理事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成眞君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 9 号、令和 2 年度三朝町財産区特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成眞君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 10 号、令和 2 年度三朝町水道事業会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成眞君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 11 号、令和 2 年度三朝町国民宿舎事業会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成眞君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 12 号、三朝町被災者住宅再建等支援条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成眞君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 13 号、三朝町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成眞君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 14 号、三朝町印鑑条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成眞君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 15 号、三朝町保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成眞君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 16 号、三朝町水道事業給水条例及び三朝町簡易水道等給水条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第17号、三朝町特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例及び三朝町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第18号、布設工事監督者が監督業務を行う水道の布設工事並びに布設工事監督者及び水道技術管理者の資格を定める条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第19号、三朝町温泉配湯条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第20号、三朝町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第21号、定住自立圏形成協定の変更について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第22号、三朝町過疎地域自立促進計画の一部変更について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第23号、令和元年度三朝町一般会計補正予算（第5号）について、質疑ありませんか。
7番。

○議員（7番 遠藤勝太郎君） 9ページの繰越明許費で、民生費4,755万4,000円の繰り越しが上がるとのわけですが、12月補正で空調関係で4,501万3,000円の補正があったわけですが、これ以上に繰越明許費が多いわけですが、この内訳を。

○議長（清水 成真君） 山中課長。

○町民課長（山中 恵子君） 9月補正で実施したものは実施設計部分で、12月補正で修繕費を

計上したものが4,356万円でございます。それを繰り越しさせていただきます。（発言する者あり）

○議長（清水 成眞君） 休憩します。

午前11時35分休憩

.....

午前11時36分再開

○議長（清水 成眞君） 再開します。

山中課長。

○町民課長（山中 恵子君） 実施設計部分と修繕費を足した4,854万7,000円のうちの4,755万4,000円を繰り越しさせていただきます。

○議長（清水 成眞君） 7番。

○議員（7番 遠藤勝太郎君） 実施設計費っちゃうのは、その設計の段階で台数が決まった時点で済んどらせんですか。それで、それに基づいて4,500万の空調の機械の設備費っちゃうのが出てくるでないですか。

○議長（清水 成眞君） 山中課長。

○町民課長（山中 恵子君） そのうちの工事管理費部分でございます。

○議長（清水 成眞君） 7番。

○議員（7番 遠藤勝太郎君） 3回目だな。4,500万の中に工事管理費っちゃうのは入っとらんですか。何だか今、別につけたのがその150万相当がふえとるような言い方されるけど、ちょっと納得できんだけど。それで、もっと言いたいことは、12月の補正上げられて繰越明許のことができなんだっちゃうことだな。それで、ことしまた3,000万円の補正で修理が上がとる。言い方を変えれば、俺に言わせれば、一遍に出すと金額が大きくなるけえ分けて出いたというような感じにしか見受けれんだけどな。（「3,000万の補正じゃない。新規に予算がついた」と呼ぶ者あり）間違えた、補正じゃなしに新たに予算がついたっちゃうことで。

○議長（清水 成眞君） いいですか。

遠藤議員、質問の内容がちょっとわからないみたいなので、もう一度。

○議員（7番 遠藤勝太郎君） 4,500万円の補正の中には管理費もついとらせんかって、含めて4,500万じゃないですか。それなら別に管理費もつけて上げられないけん、補正に。上がったらんっちゃうことは、含まれとらせんか、一緒になっとらせんかっちゃうことですよ。それで、4,700万で上がったるっちゃうのは、150万が何か管理費としてつけたというような表現だ

ったけど、おかしいことないかって聞いとるですが。

○議長（清水 成真君） 休憩します。

午前11時38分休憩

午前11時45分再開

○議長（清水 成真君） 再開いたします。

山中課長。

○町民課長（山中 恵子君） 全体事業費のうちの、実施設計部分を除いた工事費部分と工事管理費部分を繰り越しさせていただいております。

○議長（清水 成真君） 赤坂副町長、かわりに答弁。

○副町長（赤坂 英樹君） 済みません。言われたのは12月の補正の額だと思いますが、12月の補正後の全体事業費の額が5,000万となっております、そのうちの終わった実施設計を除いた工事費と工事管理費部分を繰り越しをさせていただくというもので、その額がこの額ということでございます。

○議長（清水 成真君） そのほか。

2番。

○議員（2番 松原 茂隆君） 31ページ、中ほどの社会教育総務費、そこで、人権教育推進員設置事業で115万2,000円減額がしてあるわけですが、昨年の予算も大体120万ぐらいで、今年度予算は126万6,000円組んであるわけです。これをほとんど減額してあるという、まずこの説明をお願いしたい。

○議長（清水 成真君） 佐々木課長。

○社会教育課長（佐々木敦宏君） 申しわけございません。人権教育推進員を設置することができませんでして、全額減額させていただきたいと思うものでございます。

金額が違うことにつきましては、令和2年度は会計年度任用職員ということで、金額が若干増加しています。以上です。

○議長（清水 成真君） 2番。

○議員（2番 松原 茂隆君） まず基本的なことですけど、予算を組んでおって人が探せませんでした、できませんでした、ここで人権、人権でこれだけ三朝町も一生懸命やっとならなかっただけで、これはおかしいんじゃないですか。年度当初できなくても、途中からでも人探しをずっとしていつか予算を執行する、人権を啓発するとか、そういう部分でやるのが普通じゃないですか。ちょっと

教育長に聞きたいですけど。

○議長（清水 成真君） 答えられますか、教育長。

佐々木課長。

○社会教育課長（佐々木敦宏君） 申しわけございません。年間を通じて適任者を探しながらお願いしていたところですが、配置することができませんでした。よろしく願いいたします。

○議長（清水 成真君） 2番。

○議員（2番 松原 茂隆君） 110万の予算を組んでいて、できませんでした、じゃあ、減額いたします、ことは126万6,000円の人件費を組んで、また来年度できませんでした、ことはできますかね。できるというふうに私は思ってますけど、できますか。そこだけ。

○議長（清水 成真君） 佐々木課長。

○社会教育課長（佐々木敦宏君） 説得を重ねて、受けていただく方向でよい方向に向かっているところがございますので、予算の議決が終わりましたら、早速就任していただきますよう努力してまいる所存でございます。以上でございます。

○議長（清水 成真君） そのほか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 質疑を終結し、進行いたします。

議案第24号、令和元年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第25号、令和元年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第26号、令和元年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第27号、令和元年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第2号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第28号、令和元年度三朝町水道事業会計補正予算（第3号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 質疑なしと認め、進行いたします。

以上で質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題としております28件の議案のうち、議案第1号、令和2年度三朝町一般会計予算、議案第23号、令和元年度三朝町一般会計補正予算（第5号）については、5人の委員をもって構成する一般会計予算審査特別委員会により審査することとなっており、特別委員の選任は議長が指名することとなっておりますので、総務教育常任委員会から遠藤勝太郎議員、福田茂樹議員、産業民生常任委員会から山口博議員、吉田道明議員、副議長、石田恭二議員、以上5名の諸君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま指名いたしました5名の諸君を特別委員に選任することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 御異議なしと認めます。よって、総務教育常任委員会から遠藤勝太郎議員、福田茂樹議員、産業民生常任委員会から山口博議員、吉田道明議員、副議長、石田恭二議員、以上の5名の諸君を選任いたします。

お諮りいたします。ただいま付託いたしました議案以外の26件の議案は、お手元にお配りしている議案付託表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託いたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（清水 成真君） 御異議なしと認めます。よって、議案第1号及び議案第23号を除く26件の議案は、お手元にお配りしている議案付託表のとおり、それぞれ所管の常任委員会にその審査を付託いたします。

○議長（清水 成真君） 以上で本日の日程は全て終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。御苦労さまでした。

午前11時53分散会
